

2026 年 9 月 8 日

【お知らせ】

会 社 名 B R A N U 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 名 富 達 也
(コード番号：460A 東証グロース市場)
問合せ先 取 締 役 C F O 宇 都 宮 久 之
(TEL 03-5413-4820)

「建通新聞」に代表取締役 名富の取材記事が掲載されました

当社は、建設産業界の専門紙「建通新聞」（東京版誌面）に、当社代表取締役 名富 達也のインタビューが掲載されたことをお知らせいたします。誌面では、販売体制の強化による全国展開と建設 AI SaaS・AX の今後の構想について語っています。ぜひご覧ください。

記

メディア： 建通新聞
コーナー： Challenge
タイトル： 建設業 DX を次のステージへ AI 活用で業務変革
掲 載 日： 2026 年 9 月 1 日（火）
誌 面： ※掲載許可をいただいております。

Challenge

—— チャレンジ ——

BRANU（港区）は、建設業向け SaaS「CARE ECON Plus」を中心に、中小建設企業の経営改革を支援している。2025年に東京証券取引所グロース市場へ上場した同社の取り組みについて、名富達也社長に話を聞いた。

= BRANU =



名富達也社長

建設業 DX を次のステージへ

AI 活用で業務変革

主力サービス「CARE ECON Plus」は、施工管理、マーケティング、採用、案件マッチング、経営管理など、建設会社の経営機能を一元化したオールインワン型 SaaS だ。現場管理だけでなく、経営全体を支援できることが最大の強みとし、営業や採用、経営管理まで一つのプラットフォームで運用できるので、経営状況の可視化と業務効率化につながる。

建設業界の人手不足の解決に意欲的で、「多くの人に現状や DX の可能性を知ってもらい、変革のきっかけをつくるため上場を決定した」と説明。「上場で高まった信用を生かして事業を加速し、業界変革をけん引したい」と意気込む。

今後は自社の営業網拡大に加え、渡辺パイプとの連携を軸に販売体制を強化していく。同社の顧客基盤と全国の拠点網を活用し、「これまで接点がなかった地域建設会社にもサービスを届け、全国展開を加速させたい」と語る。また、DX の先にある「AX（AI トランスフォーメーション）」を掲げ、「AI が利用者に伴走するサービスを実現し、建設業 AI 分野の国内カテゴリーリーダーを目指す」という。

具体的には、現場写真や図面、見積書などを AI が読み取り、データ入力や収支・施工管理までを自動化する「AI エージェント」を推進していく。情報の整理や管理をテクノロジーに任せ、人は判断や工夫、品質・安全の確保に専念。「AI が処理した内容を確認するだけで業務が完結する世界をつくれれば、現場担当者や経営者が事務作業から解放され、より本来の業務に集中できる」と話す。

これら新しい働き方を広げることで、フルカラーの価値を高める「スカイブルーカラー」を浸透させ、建設業を子どもたちの憧れの職業にしたいと考えた。

以上